

集会案内

日曜日

礼拝 1:45pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榑原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫■

「夢」

拙宅の裏庭の一面がタイル張りになっていて、二十年ほど前になるが、以前あったタイルの幾つかを剥がして、「夢」という漢字になるように新しいタイルをはめ込んだことがあった。最近、家内から指摘されて分かったことだが、その漢字は間違っていた。夢の中ほどに「心」を入れていたのである。

それはともかく、僕の心には絶えず「夢」という言葉が留まっていたのは事実である。その当時の夢は、教会の伝道活動が拡大しますように、メッセージに聖霊が豊かに働いて下さいますように、という内容だったと思う。だが、実のところ何が本当の夢なのか判然としていなかったのである。世にいう「バケツトリスト」(残りの生涯にしておきたい希望のリスト)をあれこれ考えてきたことも事実であるが、何ごとも主に喜ばれる働きをすべきという点から考えると、これといった明確なものは未だ与えられていなかったのである。

この四月中旬のことである。引退牧師の溝口俊治先生と電話で話す機会があり、その中で彼が尋ねてきたことがあった。それは、私がこれからどんな事をしたいのか、という質問である。その時、僕は思いがけず心の片隅にあった一つの思いを語った。「二年前にホーリネス教団百年史を編纂したこともあり、今度は北米キリスト教会の記念誌を書きたいですね」と。それは一つの教団を超えて、二百近い北米の教会の過去と現在を網羅する事であり、とてつもない作業になりそうなのだが、僕は思わず知らずそう返答してしまっただけである。

その後、たまたま本棚にあった「北米キリスト教宣教百年史」を手にしたところ、何と二〇二七年が北米宣教百五十年にあたること分かった。今から四年後のことである。ホーリネス教団の執筆には九三年を要したが、資料集めに必要な時間も考えると、北米宣教百五十年記念誌の編纂には後四年しかない。

聖書に、主イエスが約束された聖霊が下ることによって、「若者たちは幻を見、老人たちは夢を見るであろう」(使徒行伝二・17)とある。それは主の救いのわざが全世界に広がってゆくという輝かしい将来への約束であり、今に生きる私たちクリスチャンへの励ましである。果たして、私の夢が自分の思いがちではなく、聖霊による明るい将来を約束するものとなることを願いたい。同様に、あなたの輝く未来も主の手中にあることを忘れてはなるまい!

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榑原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的な事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。